



## 第4日目(7/18) 現地3日目 ホストファミリーとお別れ



[速報ページへ](#)

[交流のページへ](#)



2日間お世話になった民泊のみなさんとお別れです。まだコロナの影響がある中、快くホストファミリーを引き受けていただき大感謝です。ありがとうございます。



ホストファミリーと



ホストファミリーと



ホストファミリーと



ホストファミリーと



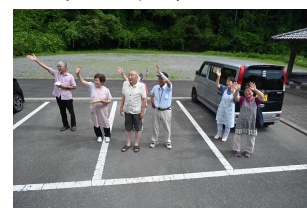
ホストファミリーと



ホストファミリーと



八瀬のみなさんと



お見送りいただきました

## 生徒たちのふりかえり(1)

### 2年小島

民泊1日目:初めての民泊ですごくドキドキしていたけど、とても温かい家族の中に入れてもらえて、たくさん歓迎していただけてとてもうれしかったです。夜ご飯は天ぷらと、唐揚げグランプリで位になつたらしい唐揚げをいただきました。めちゃくちゃ美味しかったです。家の周辺も散歩させてもらえて自然にたくさん触れることができ嬉しかったです。たくさん会話することもできて明日からも楽しみになりました。迷惑をかけないように気をつけたいと思います。

民泊2日目:朝はとても涼しくて少し肌寒いくらいでした。朝はバタバタしていたけど、朝ごはんを食べながら、東日本大震災についてお聞きできてもっと時間があればなと思いました。東日本大震災については、ホストファミリーの周辺はあまり被災しなかったようですが、いとこさんが陸前高田に住んでいたようで、無事ではあったようですが被災されたとのことでした。ホストファミリーご自身は、被災地の支援を行っていたようで、全国から届く大量の支援物資の仕分けなどが大変だったそうです。食糧も交通手段が少なく物価の高騰やあまり食べられないことが多かったそうです。民泊に戻ってきてからは、夜ご飯にかつおとひらめなど大阪では食べられないような刺身を食べさせていただいて、めちゃくちゃ美味しかったですし、貴重な経験だと思いました。その後、室根山の山頂にある展望台まで連れて行ってくださり、少し雲はかかっていたけど星を見ることが出来ました。望遠鏡が研究用のものだそうで、星はあまり見えなかったけど、その装置だけで感動していました。最後にたくさんお話をできてすごく楽しかったです。

民泊3日目:早起きをして自宅の畑や田んぼの整備等の手伝いをさせていただきました。

### 2年中本

現地の高校生と交流をした。グループにいた気仙沼高校の生徒は全員震災を経験していて、同じ年どうしということもあり、震災のことについて初めて近くの立場から聞くことができたので、新しい視点から東日本大震災について考えることができた。紙で震災を表現した時、大阪から来た私たちは津波や揺れなどの物理的な被害を表現したが、気仙沼高校の方は不安や混乱など心理的な面で東日本大震災を表現していた。このことから、私たちは実際の被害のことについてばかり学んで考えていたが、実際は被害にあった後の精神的な面での支援や、被害による不安や苦しみをどのようにして乗り越えるのが大切なのだなと思った。高校生の方が話していた、電気がつかない中での星空はキラキラしていてとても綺麗だったと思った一方で、他の現地の方は自分にとっては絶望の空だったと同じ東日本大震災の記憶でも真逆に変えることがあるのだなと驚いた。